

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和元年9月27日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	城南公民館 多目的ホール
4 出席者	相田委員、井出委員、小野澤委員、小林委員、新谷委員、関委員、田玉委員、中澤委員、中村亜紀委員、中村恵美子委員、根橋委員、羽田委員、堀内委員、増澤委員、宮澤委員、柳澤委員、矢野委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、宮澤市民参加・協働推進課長、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年10月7日
協 議 事 項 等	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 会議事項	(1)地域協議会の見直し(案)について ・事務局より資料に基づき説明 ・以下、質疑応答 (委員) 第8期委員を1月に選考したいとのことだが、その前に庁内で地域協議会のあり方、見直しの検討委員会のようなものが開かれて決定されたのか。回答希望時期が10月であるが、来年度予算の概算要求の時期に当たるので、委員の意見の集約のもと、議会の議決を得て、条例改正のうえ、4月からの見直しをお考えか。 (事務局) 庁内で検討を重ねてきた。まず担当職員で検討し、市政経営会議でも検討した。部長会議でも提案済みであり、その上で、地域協議会の委員の皆様にご検討いただくという段階です。回答時期が10月で予算に絡んでいるのかという件に関しては、今回の意見聴取の結果を受けてどうするかを検討する。議会に対しては地域協議会の皆さんの意見を集約し、見直しを行うことになれば、12月議会で説明をする。今回の見直し案であれば、条例を改正する必要はない。 (委員) 上田地域の中央地区を除く場所で住民自治組織ができているということだが、中央地域協議会では調査研究が行われているのか。 見直し案だが、中央地域には住民自治組織はないが、他の地域はある。課題を踏まえて、委員数を減らすことは良いと思うのが、住民自治組織のある西部地域から川西地域をまとめて人員・設置単位を変えるという趣旨ならわかるが、中央地域を含めるのはどうかと思う。地域協議会の本来のあり方が見えず、人数を減らすのが先行してしまうのは順序として違うのではないか。 (事務局) 中央地域協議会では調査研究を行っている。3つの部会で調査研究をしており、今年度末を目安

に、市への提言に向けて進めていただいている。

中央地域協議会でも見直し案について検討していただいている。結論は出ていないが、上田地域が1つの地域協議会となった時には、協議会のあり方を再度確認させていただきたい。丸子・真田・武石に関しては、地域協議会が市長に提言できる唯一の場所であると認識されているため、現段階では、地域協議会を廃止することは考えていない。

(委員) 見直し案を見させていただいて、上田地域協議会では120人を20人に絞るとなっているが、選出などはどのようにお考えか。

(事務局) 1地域から3名程選出していただき、残りは公募と考えている。何人が適切なのかは何とも言えないが、推薦母体をどうするかは担当者が検討している。皆さんから頂いたご意見を参考にしながら、検討したい。

(委員) 城南地域も提言を活発にしていた時期があった。交通・教育・介護など検討していたが、住民自治組織が設立され、地域協議会での提言はされなくなったが、調査研究は残していかなければならないものだと思う。

(事務局) 上田地域では行政懇談会が行われ、市長に対して話をできる場があるが、丸子・真田・武石にはなく、地域協議会がその場となる。そのような地域性もあるが、上田地域においても、地域協議会で調査研究をしていただきたく、地域協議会のあり方を今一度確認いただきたい。

(委員) 地域協議会で課題を検討し市へ提言をすることを行ってきたが、住民自治組織に対し市の意見聴取や諮問をする動きにできるものか。

(事務局) 現状ではできない。地域協議会の役割は条例で定められている。

(委員) 人数は見直し案の人数が適切に思う。人数が多ければ意見も多様化してしまう。人口減少、少子高齢化を念頭に置いてどの会議も検討している。女性の選任については、どこでも40%となっている。条件付きで公募団体・推薦を女性の委員でと依頼をすれば40%は選任される。上田市もHPなどで市議会・協議会は女性が何%の選出になるかをお示しいただきたい。役割は現行通りとなるが、この通りで進めていただいて良いと思う。

(事務局) 地域協議会や住民自治組織など、自治会長が他団体の委員や役員等を兼任することが多い。1日に複数の会議に出席している自治会長もいる。市として、本当にその人数が適正か検討している段階である。女性の起用に関しても、人権男女共生課で把握をしている。地域協議会においては目標値を達成するためにも女性の登用を確保するように選出させていただいている。

(委員) 月に1度は会議を開催している団体でないと、意見集約ができないのではないかと。公募で手を挙げる人はまずいない。だとすれば結局は組織の代表者となる。自治連なり住民自治組織の代表が委員にならざるを得ないのではないかと。もっと順を追って絞り込んだ方が良いのではないかと。

(委員) 地域協議会は課題を調査研究し、市がより良い方向に向かうために設置されたものであるため、地域協議会の重要度は大きい。現在の各住民自治組織は、調査研究・要望するまでには成熟していない。本来は地域協議会で意見交換し、市へ意見を述べる。本来の地域協議会として今後も継続すべきでないかと思う。

(委員) 継続でよいかと思うが、さらにスリム化でやっていただければと思う。千曲川左岸右岸などに分け行ってもらえればと思う。

(会長) 多数意見がでたので、次回までに意見を整理して、次回、まとめたい。

(事務局) 今回意見を出してない方もいるので、調査票をお送りして意見を募り、それを基に次回、意見集約をお願いしたい。

4 その他

次回の開催予定

日時 10月17日(木) 午前10時から

場所 城南公民館2階 多目的ホール

5 閉会